



みなみっ子

学校教育目標

自立

協働

創造

66号

令和8年9月18日(金)

南城市立大里南小学校

文責 校長 與儀 毅

大里南小学校の素敵な子どもたち

朝の清々しい空気の中、校庭で作業をしているときに感じた、心温まるエピソードをご紹介します。

朝、私どもが校内の草刈りや木の剪定を行っているとき、登校してきた子どもたちが「お手伝いします!」と自ら駆け寄り、集まった草を集めたり、剪定した枝を一生懸命片付けたりしてくれています。指示されたからやるのではなく、作業している姿を見て「自分から進んで手伝う」という姿勢に、大変感動いたしました。

沖縄には「やーなれー、ふかなれー(家での習慣やしつけは、外に出ても自然と表れる)」という素晴らしい黄金言葉があります。学校で自然と人のために動けるその素敵な姿は、間違いなくご家庭での温かい関わりや、日常の中で家事やお手伝いを進んで行う習慣が育まれているからこそだと感じております。ご家庭での日頃の豊かな教育と愛情に、深く敬意を表します。

自分の手で学校を綺麗にしてくれた子どもたちの清々しい笑顔は、朝の校庭を明るく照らしてくれました。このような思いやりのある「素敵な子どもたち」が育っていることを、地域の誇りとして皆様にもお伝えたく今回の学校便りに取り上げました。「やーなれー、ふかなれー」という黄金言葉の通り、大人が背中を見せ、子供たちが自主的に動く素晴らしい循環が生まれています。

※ちなみに今日9月18日は「しまくとぅばの日」です。「やーなれー」以外にも素敵な言葉がたくさんあります!!

1 子供たちの行動に見る「やーなれー」のポイント

自主性と気づき:誰かに命令されて動くのではなく、困っている状況を見て「自分にできること」を直感的に探して動ける点。

家庭での生活習慣:日頃から家事や家族の手伝いを「自分の役割」として自然にこなしているからこそ、学校の朝の活動でも進んで取り組む子。

地域と学校のつながり:作業をしている大人への敬意や、みんなが使う学校を綺麗にしようという地域精神(ゆいまーの心)の芽生え。

